



銘柄コード 7564

2014年3月期 第2四半期決算説明会



株式会社 ワークマン

2013年11月5日 開催

- ・第2四半期決算の概要P3~P11
- ・2014年3月期決算の見通しP12~P14
- ・取組み状況P15~P19
- ・第2四半期決算の詳細P20~P24

● 第2四半期決算の概要

2014年3月期決算の見通し

取組み状況

第2四半期決算の詳細

決算の概要1

第2四半期累計期間 4月～9月



<単位:百万円、%>

	2013年3月期		2014年3月期			
	第2四半期累計期間		第2四半期累計期間			
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	予想	予想比
チェーン全店売上高	29,902	+5.6	31,182	+4.3	31,719	△1.7
(既存店売上高)	—	+3.5	—	+2.0	+3.9	△1.9
営業総収入	21,249	+2.8	21,888	+3.0	22,468	△2.6
販売費及び一般管理費	3,890	△1.1	4,000	+2.8	4,057	△1.4
営業利益	3,205	+10.6	3,345	+4.4	3,463	△3.4
経常利益	3,706	+10.2	3,838	+3.6	3,976	△3.5
特別損失	32	+96.2	4	△85.7	5	△13.3
四半期純利益	2,066	+14.6	2,143	+3.7	2,221	△3.5
1株当たり四半期純利益	101円27銭		105円06銭		108円87銭	

※2014年3月期第2四半期累計期間の予想値は、2013年4月30日発表の業績予想数値を使用しております。

決算の概要2

第2四半期会計期間 7月～9月



<単位:百万円、%>

	2013年3月期		2014年3月期	
	第2四半期会計期間		第2四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	13,910	+4.7	14,334	+3.0
(既存店売上高)	—	+2.2	—	+0.8
営業総収入	9,887	+3.0	10,003	+1.2
販売費及び一般管理費	2,006	+1.1	2,043	+1.8
営業利益	1,275	+5.1	1,352	+6.0
経常利益	1,527	+5.5	1,589	+4.0
特別損失	22	+114.3	0	△99.5
四半期純利益	828	+9.5	871	+5.2
1株当たり四半期純利益	40円62銭		42円71銭	

第2四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 11店舗 島根県に初出店
- 2013年9月末 721店舗
(2013年3月末比 +11店舗、2012年9月末比 +23店舗)

店舗運営形態

- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2013年9月末 610店舗
(2013年3月末比 +19店舗、2012年9月末比 +42店舗)
- フランチャイズ・ストア比率 84.6%
(2013年3月末比 +1.4ポイント、2012年9月末比 +3.2ポイント)

販売強化

- エブリデー・ロー・プライス商品 207アイテムを新規導入、差別化を促進
- お客様が選びやすく、買いやすい売場づくりを推進
- フランチャイズ・ストア荒利益率 35.2%(前年同率)
- 竜王流通センターの稼働で物流の効率化とリードタイム1日の短縮(西日本エリア)

竜王流通センターの様子



竜王流通センター全景



1階 ストックエリア



2階 ピッキングエリア



コンベアにより倉庫内を流れる商品



各店舗ごとに仕分け

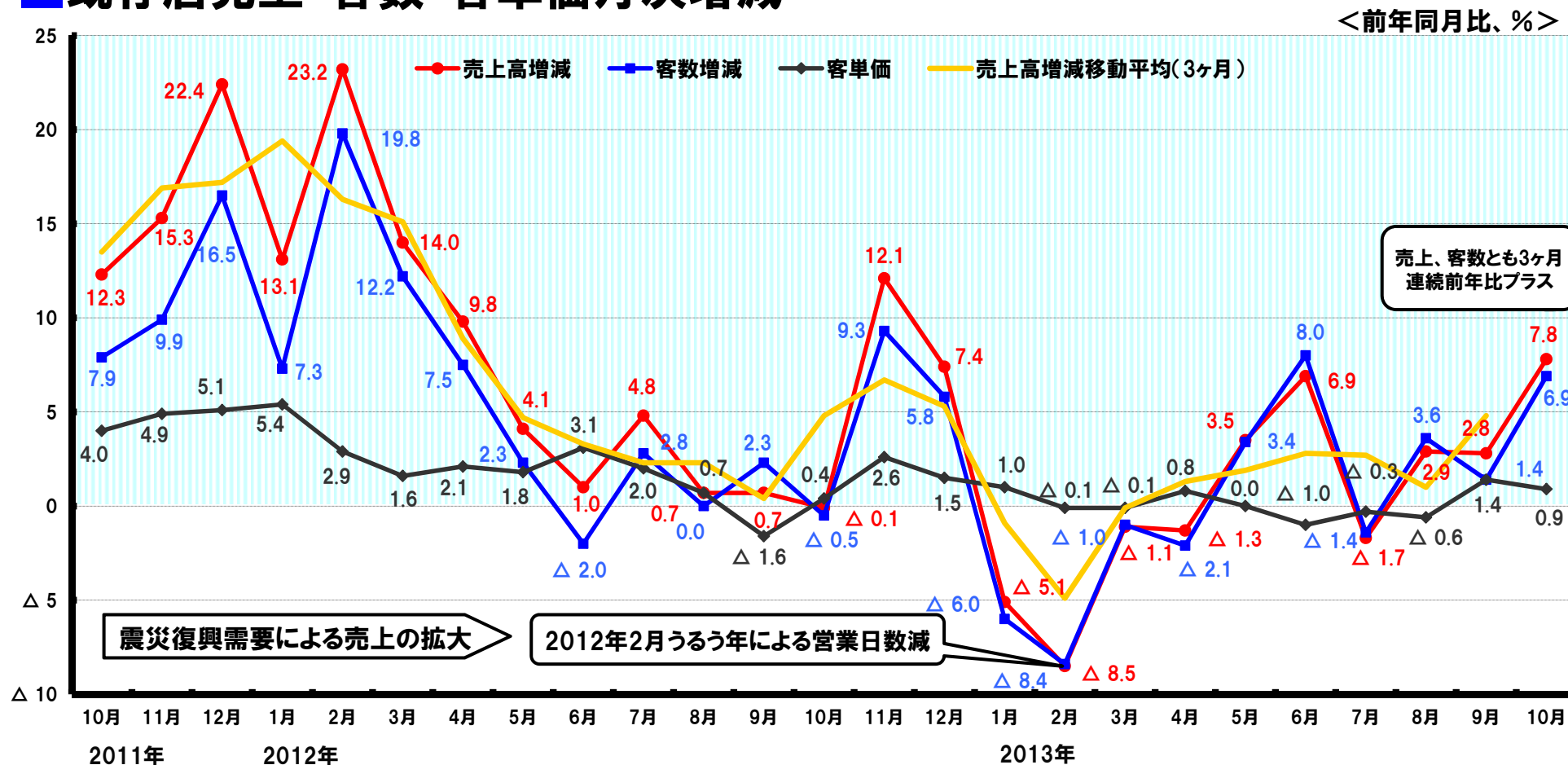


各店舗に向けて出荷

月次推移と要因



■ 既存店売上・客数・客単価月次増減



震災復興需要による売上の拡大

2012年2月うるう年による営業日数減

売上、客数とも3ヶ月連続前年比プラス

12/3期
3Q既存店売上
+16.7%

4Q既存店売上
+16.2%

13/3期
1Q既存店売上
+4.7%

2Q既存店売上
+2.2%

3Q既存店売上
+6.6%

4Q既存店売上
△5.1%

14/3期
1Q既存店売上
+3.1%

2Q既存店売上
+0.8%

販売状況 第2四半期累計期間 4月～9月



チェーン全店売上高 311億円

<前年同期増減率>

	チェーン全店	既存店	東日本エリア 既存店	西日本エリア 既存店
売上高	+4.3%	+2.0%	+1.0%	+3.5%
客数	+4.4%	+2.0%	+0.7%	+3.6%
1日当たり平均客数	—	112人(+2人)	—	—
客単価	2,267円	2,275円	2,310円	2,213円
	△0.1%	+0.0%	+0.3%	△0.1%
1品単価	814円	816円	816円	816円
1人当たり買上点数	2.8点	2.8点	2.8点	2.7点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しております。

商品別売上高と要因

■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2013年3月期 第2四半期累計期間		2014年3月期 第2四半期累計期間		要因
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロン等	2,702	+5.4	2,797	+3.5	5、6月は平年より高い気温の日が続き 「消臭抗菌、吸汗速乾、接触冷感」など 機能性の高い作業服や長袖Tシャツ、ハイ ネックなど夏物衣料品の販売が好調。
カジュアルウェア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾン等	3,215	+5.1	3,346	+4.1	7月から天候不順により夏物衣料品の動き が鈍化。
ワーキングウェア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・着衣料等	8,762	+7.0	9,060	+3.4	
履物 安全靴・安全スニーカー・地下足 袋・長靴・厨房シューズ等	6,329	+5.7	6,562	+3.7	局地的な大雨や台風の影響で長靴、合羽 などの雨関連商品の需要が高まる。
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメット・マスク等	7,851	+4.9	8,355	+6.4	ゴム張り手袋、ビニール手袋の販売好調。
その他 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・不織布作業服等	1,040	+0.9	1,059	+1.8	不織布用品(使い捨てタイプのツナギ服、 ヤッケ、マスク等)の販売好調。
合計	29,902	+5.6	31,182	+4.3	

商品別売上構成



■チェーン全店商品別売上構成比前年同期比較

<単位:%>

		2011年3月期 第2四半期 累計期間	2012年3月期 第2四半期 累計期間	2013年3月期 第2四半期 累計期間	2014年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期増減	2012年3月期	2013年3月期
衣 料	■ファミリー衣料	9.1	9.1	9.0	9.0	+0.0	9.9	9.9
	■カジュアルウエア	10.1	10.8	10.7	10.7	+0.0	10.1	10.1
	■ワーキングウエア	29.2	28.9	29.3	29.1	△0.2	28.5	29.0
用 品	■履物	21.0	21.2	21.2	21.0	△0.2	20.8	20.7
	■作業用品	26.4	26.4	26.3	26.8	+0.5	27.6	27.3
そ の 他	■白衣・ユニフォーム	4.2	3.6	3.5	3.4	△0.1	3.1	3.0
合計		100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0

第2四半期決算の概要

● **2014年3月期決算の見通し**

取組み状況

第2四半期決算の詳細

決算の見通し



<単位:百万円、%>

	2013年3月期		2014年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	63,858	+4.8	67,698	+6.0
(既存店売上高)	—	+2.4	—	+3.8
営業総収入	45,057	+2.5	47,691	+5.8
販売費及び一般管理費	7,811	△0.4	8,243	+5.5
営業利益	7,394	+7.4	8,001	+8.2
経常利益	8,433	+7.2	9,061	+7.4
特別損失	55	△26.5	81	+46.0
当期純利益	5,044	+14.6	5,390	+6.9
1株当たり当期純利益	247円26銭		264円20銭	
1株当たり配当金	75円00銭		75円00銭	

決算の見通しポイント

通期業績予想

- プライベート・ブランド(PB)商品の開発で商品力を強化
- 主力となる防寒商品、PB商品の売場づくりの推進
→「重ね着スタイル」を提案して買上げ点数アップを図る
- 商品訴求の新テレビCM放映で客数増を図る
→全国ネットで放映し知名度をさらにアップ
- 通期チェーン全店売上高 676億円 前期比 +6.0%
 - ・既存店売上高前期比 +3.8%
 - ・既存店客数前期比 +2.5%前後を想定
 - ・既存店客単価前期比 +1.3%前後を想定
- 経常利益 90億円 前期比 +7.4%
当期純利益 53億円 前期比 +6.9%
4期連続の増収増益で過去最高益達成へ

第2四半期決算の概要

2014年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第2四半期決算の詳細

出店進捗状況

人口の多い南関東、近畿エリアの出店拡大で客数増加を図る

2014年3月期計画

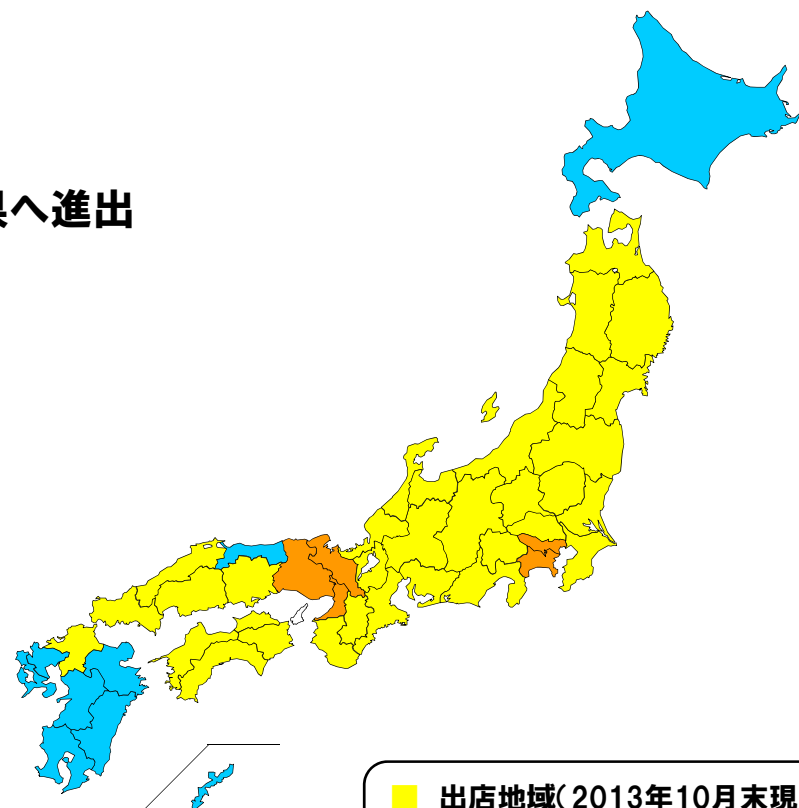
- ・開店 25店舗
- ・期末店舗数 735店舗(前期末比 +25店舗)
- ・スクラップ&ビルド(既存店の活性化)2店舗
- ・新たに鳥取県、島根県への出店で、本州の全都府県へ進出

出店状況

<店舗数>

	4月～10月 出店実績	開店準備中 (契約済)	通期計画
東 北	1		1
関 東	5	3	7
中 部		1	3
近 畿	2	3	5
中 国	2	2	5
四 国	1	1	2
九 州	1	1	2
合 計	12	11	25

7月 松江店がオープンし島根県へ初出店



- 出店地域(2013年10月末現在)
- 今期重点開発エリア
- 未出店地域

フランチャイズ(FC)化の推進

個店売上の向上でフランチャイズ化を推進

■ 2014年3月期計画

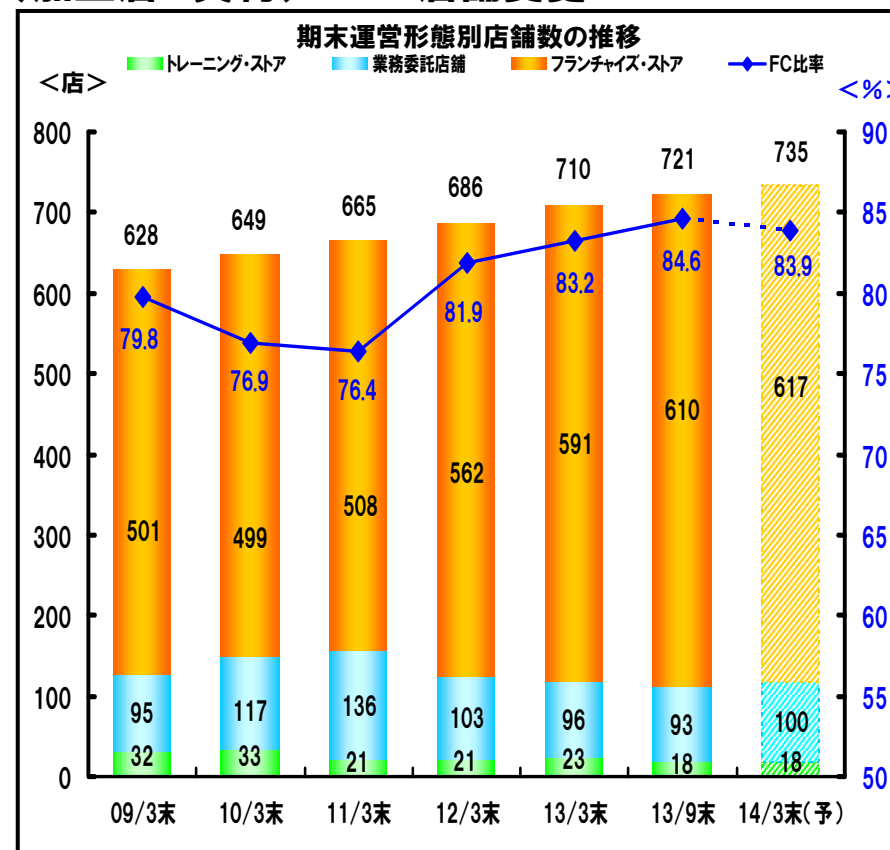
フランチャイズ・ストア(加盟店A契約) 617店舗(前期末比 +26店舗)

業務委託店舗(加盟店B契約)→フランチャイズ・ストア(加盟店A契約)へ 24店舗変更

■ FC化状況

4月～9月の店舗運営形態の推移(開店含む)

<店>			
	増加	減少	増減合計
フランチャイズ・ストア (内B契約からの変更)	+28 (17)	△9	+19
業務委託店舗 (内A契約からの変更)	+16 (0)	△19	△3
トレーニング・ストア	+20	△25	△5



エブリデー・ロー・プライス(EDLP)商品の推進

コア(核)商品の売場づくりでEDLP政策を更に強化

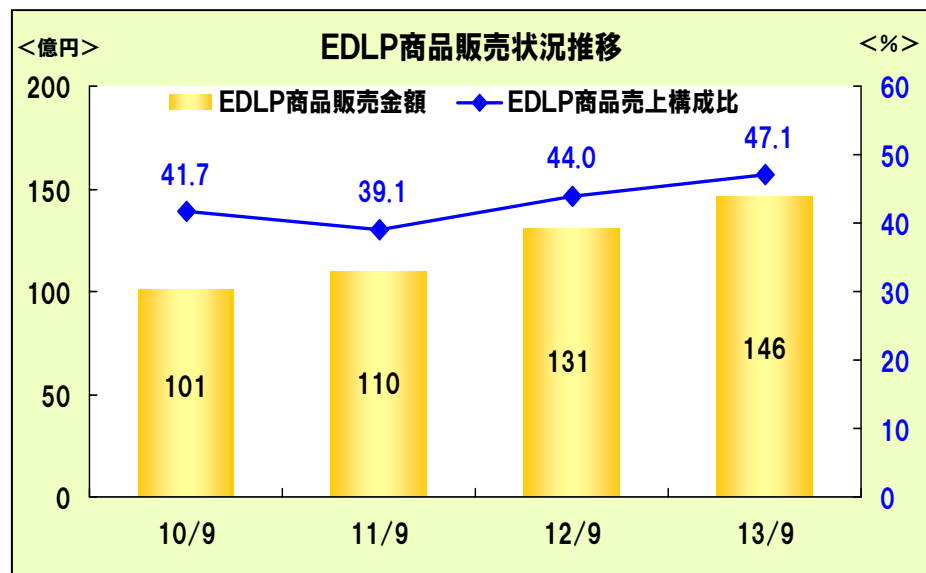
■ 2014年3月期計画

- ・今期新たに 230アイテム計画
- ・EDLP商品合計売上高 306億円
- ・チェーン全店売上高に占める構成比 45.3%(前期比 +3.2ポイント)

■ EDLP商品の開発状況

- ・2013年 9月末現在 207アイテム開発

■ EDLP商品の販売状況



冬の重点販売商品の売場

プライベート・ブランド(PB)商品の開発

PB商品の開発で他社との差別化を推進

■PB商品の開発

- ・2011年 1月より全店で展開スタート
- ・2013年 9月末現在 152アイテムを展開
(内 WORKMAN BEST 139アイテム)
- ・PB商品売上高 24億 78百万円
(チェーン全店売上高に占める構成比 7.9%)
- ・中期的にPB商品の構成比 20%を目指す

■海外直接貿易取引を拡大

- ・機能性をアップさせた新規商品の開発で他社と差別化
- ・特に戦略的商品を「WORKMAN BEST」で展開

■この冬の「WORKMAN BEST」重ねる防寒でもっと暖かく



ヒートアシスト
発熱長袖シャツ
980円



発熱立体成型
長袖ハイネック
980円

地肌に着る



制電裏起毛
長袖ハーフジップ
780円



綿テクコットサーモ
長袖ハイネック
980円

中に着る

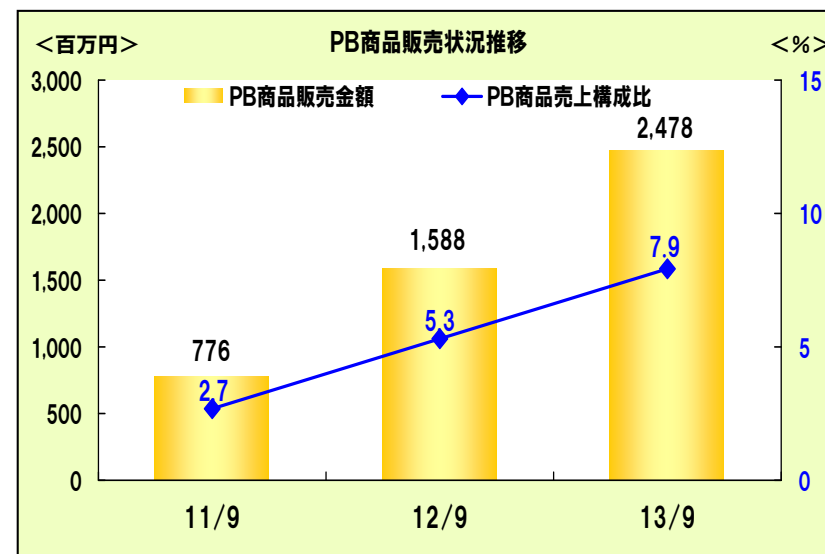


防寒裏アルミジャンパー
3,900円



ウォームライトジャンパー
2,900円

上に着る



第2四半期決算の概要

2014年3月期決算の見通し

取組み状況

 **第2四半期決算の詳細**

貸借対照表1



<単位:百万円>

資産の部	2013年 3月期末	2014年3月期 第2四半期末	増減	増減要因
流動資産	33,431	33,067	△364	
現金及び預金	23,116	22,385	△731	税引前四半期純利益38億34百万円 減価償却費3億16百万円 法人税等支払額△16億62百万円 配当金支払額△15億29百万円 仕入債務の減少△1億51百万円 たな卸資産の増加△5億74百万円 有形無形固定資産の取得△10億18百万円
加盟店貸勘定	5,307	5,015	△292	対象店舗が11店舗減少(554店舗→543店舗) 貸付金額が1店舗当たり約34万円減少
商品	3,863	4,445	581	流通センター在庫が6億円増加(竜王9億75百万円増加、伊勢崎3億75百万円減少) 未着商品74百万円増加、店舗在庫は直営店8店舗減少により93百万円減少
固定資産	13,744	16,104	2,359	
有形固定資産	6,786	9,046	2,259	竜王流通センター取得価格 建物15億96百万円 構築物2億88百万円 構築物(純額)
建物(純額)	2,102	3,806	1,704	出店・閉店状況 出店11店舗 出店形態 建物リース11店舗
その他(純額)	1,718	2,273	555	車輻運搬具1百万円
構築物(純額)	592	845	253	工具・器具・備品2億49百万円
リース資産	789	850	60	3店舗で92百万円計上
無形固定資産	307	324	17	竜王流通センター ソフトウェア24百万円取得
投資その他の資産	6,650	6,733	83	
差入保証金	5,408	5,418	9	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
その他	1,265	1,338	73	
長期前払費用	682	761	79	竜王流通センター、公共的施設負担金、整地費用で1億1百万円計上
資産合計	47,176	49,171	1,995	

貸借対照表2



<単位:百万円>

負債/純資産の部	2013年 3月期末	2014年3月期 第2四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	8,729	9,840	1,110	
買掛金・加盟店買掛金	3,634	3,482	△151	
未払法人税等	1,716	1,691	△24	
その他	1,992	3,301	1,308	
未払金	1,329	2,683	1,354	科目増減内訳 建物9億36百万円、構築物2億96百万円 工具・器具・備品2億4百万円、長期前払費用1億6百万円 公租公課54百万円、オープンアカウント△1億15百万円 ソフトウェア△1億31百万円
仮受(未払)消費税等	148	0	△148	課税仕入>課税売上
固定負債	2,655	2,927	272	
資産除去債務	592	800	207	竜王流通センター取り壊し費用1億98百万円計上
その他	946	1,002	55	
リース債務	864	928	63	3店舗で97百万円計上
負債合計	11,385	12,768	1,383	
株主資本	35,790	36,403	613	
純資産合計	35,791	36,403	611	自己資本比率74.0% 1.9ポイント減少
負債純資産合計	47,176	49,171	1,995	

損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2013年3月期 第2四半期累計期間		2014年3月期 第2四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	5,377		5,814		+8.1	
加盟店からの収入	3,783		4,131		+9.2	加盟店期中平均店舗数 当第2四半期 608店舗、前第2四半期 565店舗 43店舗増 加盟店売上高 当第2四半期 281億57百万円、前第2四半期 262億 87百万円 7.1%増 荒利率 当第2四半期35.2%、前第2四半期35.2%
その他の営業収入	1,594		1,683		+5.6	国内メーカーからの仕入高(直買仕入を除いた)前期比4.0%増 業務受託収入1億10百万円増加 賃貸料収入20百万円減少
売上高	15,872		16,073		+1.3	
直営店売上高	3,615	(100.0)	3,024	(100.0)	△16.3	直営店期中平均店舗数108店舗(21店舗減)
加盟店向け商品供給売上高	12,257		13,048		+6.5	加盟店売上高前年同期比7.1%増
営業総収入	21,249	100.0	21,888	100.0	+3.0	
直営店売上原価	1,897	8.9	1,493	6.8	△21.3	
加盟店向け商品供給売上原価	12,257	57.7	13,048	59.6	+6.5	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	14,154	66.6	14,542	66.4	+2.7	

損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2012年3月期 第2四半期累計期間		2013年3月期 第2四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(1,718)	(47.5)	(1,531)	(50.6)	△10.9	直営店売上高の減少で仕入割戻しと、直買取引による仕入れコストの減少で3.1%改善
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	7,095	33.4	7,346	33.6	+3.5	
販売費及び一般管理費	3,890	18.3	4,000	18.3	+2.8	増減要因 人件費 約34百万円増加 流通センター運営費用 約90百万円増加 竜王流通センター開設費用 約1億51百万円増加 旅費交通費・減価償却費等 約90百万円増加 販売費 約1億19百万円減少 直営店舗期中平均21店舗減 約1億26百万円減少 事務費等 約10百万円減少
営業利益	3,205	15.1	3,345	15.3	+4.4	
営業外収益	523	2.5	550	2.5	+5.3	
営業外費用	22	0.1	57	0.3	+160.9	為替差損33百万円
経常利益	3,706	17.4	3,838	17.5	+3.6	
特別損失	32	0.2	4	0.0	△85.7	減損損失 営業不振店2店舗、返却店2店舗、 遊休店1店舗で約4百万円
四半期純利益	2,066	9.7	2,143	9.8	+3.7	

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564 (JASDAQ)

お問い合わせ先: 経営企画部IR室

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>